

## 研究主題

自ら学習に主体的・協働的に取り組み、互いの  
よさを大切にしながら、自己の生き方を考えよ  
うとする生徒の育成

～地域に密着した福祉体験を通して～



## 1 研究主題

自ら学習に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを大切にしながら、自己の生き方を考えようとする生徒の育成

～地域に密着した福祉体験を通して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 学習指導要領から

学習指導要領にある総合的な学習の時間の目標に、「探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。[第1の(3)]」とある。また、「各学校において定める目標及び内容については、日常生活や社会との関わりを重視すること。[第2の3の(3)]」、「目標を実現するにふさわしい探究課題については、学校の実態に応じて、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域や学校の特色に応じた課題[第2の3の(5)]」と示されている。さらに、「自然体験や職場体験活動、ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。[第3の2の(4)]」とある。以上のことから、地域の福祉協議会の方々と連携し福祉体験学習をすることにより、生徒が暮らしている地域の実情や課題を知り、自分たちにどのような地域貢献ができるかを主体的・協働的に思考することができ、これからの自己の生き方についても探究できるのではないかと考え、本主題を設定した。

### (2) 本校教育目標から

#### 本校教育目標

#### 『生きる力』を育む

- 自分で考え、自分で決められる生徒
- 自ら学ぶ生徒
- 周りと自分を大事にする生徒
- 健康管理に努め、体力向上を目指す生徒

上記は本校の目指す生徒像である。その中で、「周りと自分を大事にする生徒」とあることから、級友や先輩、教員といった学校内で関わる人間だけでなく、自分たちが日頃生活している地域の方々も大事にするという視点を持たせることによって、福祉体験学習をしながら自分にはどのようなことができるだろうと探究するのではないかと考えた。昨今、少子高齢化と叫ばれている日本の社会の中で、本研究を行うことは本校教育目標にある『生きる力』を育むことにもつながると考えた。

### (3) 地域の実態から

本校の2023年度の生徒数は272名で、昨年度と比較すると20名程減少しており、日本社会全体で叫ばれている少子化が顕著なものになっている。また、高齢者の割合も増加傾向

にある。しかし、登下校のパトロール等に多くの高齢者の方々が参加しており、地域の方々に見守られている風土である。そういった方々に恩返しをするためにどのような地域貢献ができるかを考えさせることで、生徒自身の将来について生かせるのではないかと考えた。

### 3 研究の仮説と手立て

#### (1) 仮説

- ・福祉ボランティア活動の意義・重要性を理解すれば、自発的に福祉ボランティア活動に取り組む意欲が育つであろう。
- ・本校学区の人々・地域に愛着を持たせることができたならば、地域に貢献しようとする気持ちを養うことができるだろう。
- ・本研究を通して地域の一員としての自覚を持つことができたならば、これからの生徒自身の生活や将来の生き方について役立てることができるだろう。

#### (2) 手立て

- ・ICT等を活用して「福祉」とは、「ボランティア」とはどういうことかつかませる。
- ・学区においてどのような福祉やボランティアがあるか情報を収集する。
- ・実際に福祉施設等に赴き、体験活動をする。
- ・体験したことについてまとめ、発表する。

### 4 研究の内容

#### (1) 今年度の研究

	時数	研究内容
課題の設定	2	<p>◇教材やICTを活用し、ボランティアの意味、意義を考える。 →ボランティアに必要な“自発性”“社会性”“無償性”“創造性”について気付かせる。</p> <p>◇自分たちの周りにあるボランティアについて知る。 →中学生の自分たちに何ができるか、どこまでできるかを考えさせる。 (活動できるものもあるし、知識がないとできないものもある)</p>

<p>情報の収集</p>	<p>8</p>	<p>◇自分たちが行く（体験する）ボランティア活動の内容を理解する。 →グループ別に分かれて事前学習や準備を行う。</p> <p>◇道徳において“自分にできる小さな貢献とは何か？”について考えさせる。 →「歴史を変えた決断」</p> <p>◇福祉ボランティア活動を行う。</p> <p>○街頭募金活動 ・地域の方々からレクチャーを受け、街頭募金活動をする</p> <p>○高齢者との交流活動 ・高齢者の方々が楽しめるレクや出し物を考え、準備する。いきいき手繰会（福祉施設）を訪問し、高齢者と交流する。</p> <p>○点字学習 ・点字とは何か、どう使われているかを事前学習し、野菊の会（福祉団体）の方々から点字の読み方、書き方等を学ぶ。</p> <p>○手話学習 ・手話とは何か、どう使われているかを事前学習し、普段の生活で手話を使って生活している地域の方々から手話を学ぶ。</p> <p>○認知症サポーター養成講座 ・認知症とはどのような病気か、どう対応すればよいのかを学ぶ。支援をしている地域の方々から対応の仕方等を学ぶ。</p>
<p>整理・分析</p>	<p>5</p>	<p>◇自分たちが行った（体験した）ボランティア活動の内容について整理・分析する。 →どのような内容だったか。 →やりがいは？ →大変だった点は？ →この活動により、地域にどのような貢献ができるか？ →この活動により、自分の今後の生き方にどう生かしていくか？</p>
<p>まとめ</p>	<p>5</p>	<p>◇他のグループに自分たちが行った（体験した）ボランティア活動の内容について発表する。</p> <p>◇自分たちが行った（体験した）ボランティア活動と、他のグループが行った活動の発表を聞いた後、自分自身の今後の生き方について考えさせる。 →“福祉”という視点から、自分自身に今後どのようなことができるだろうか？ →将来大人になった時、地域貢献をしていくために自分にできることはどんなことだろうか？ →“福祉”というアプローチ以外に、他にもさまざまな貢献の仕方があるのではないか？</p>

(2) 昨年度の実践

	時数	研究内容
課題の設定	1	◇中学生・高校生だけのボランティア活動団体についてのビデオ鑑賞 →自分たちも社会の一員として地域のために何かアクションを起こそうという気持ちを持たせる。 「2030年見据えた子供たち(NHK首都圏ネットワークで放送された番組)」
情報の収集	2	◇ボランティアの意味、意義を考える。→「ボランティアって何?」 →ボランティアに必要な“自発性・社会性・無償性(・創造性)”について気付かせる。 ◇自分たちの周りにあるボランティアについて知る。 →中学一年の自分たちに何ができるか、どこまでできるかを考えさせる。 (活動できるものもあるし、知識がないとできないものもある) (中学生生活と進路1-14 ボランティアから広がる新しい世界) (中学生生活と進路1-21 「ユニバーサルデザイン」って何?)
	1	◇ボランティアグループ別活動①
	1	◇ボランティアグループ別活動②
	4	◇ボランティア学習活動 ○バリアフリー点検活動 ○車いす、福祉車両体験 ○要約筆記体験(中途失聴、難聴への理解) ○点字学習(見えないことへの理解) ○認知症サポーター養成講座(認知症の方への接し方を学ぶ)
	1	◇ボランティアグループ別活動①
整理・分析	1	◇ボランティアグループ別活動②
	1	◇ボランティアグループ別活動③
	1	◇ボランティアグループ別活動④
	1	◇ボランティアグループ別活動⑤
	1	◇ボランティアグループ別活動⑤
まとめ	2	◇ボランティア学習発表会

◇バリアフリー点検活動の様子

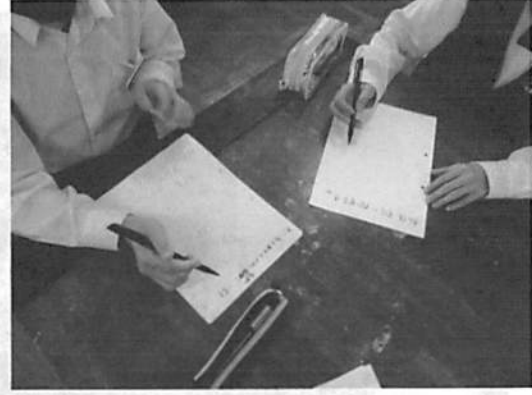
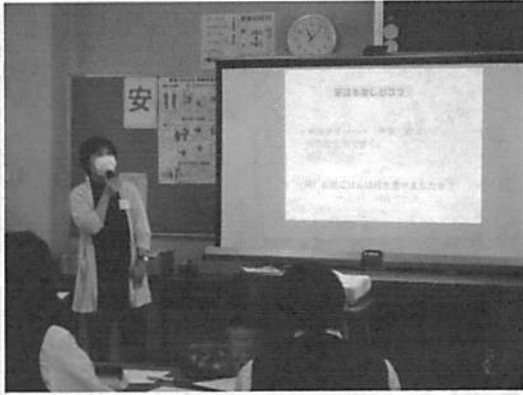


◇車いす・福祉車両体験の様子





◇要約筆記体験



◇点字学習



牛乳パック

どこが  
視覚障害者にとって  
便利なんだろう

5/27

お札

どこが  
視覚障害者にとって  
便利なんだろう

6/27

クロックポジション

机の上だったら、時計の数字の方向を使って伝えるのが  
分かりやすいです。例えば、給食の配ぜんだったら、おぼん  
を時計に見たてて

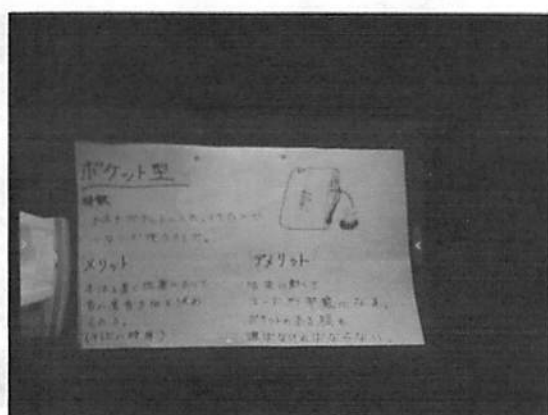
12時方向におかずのお皿  
1時方向に牛乳  
4時にしる物  
7時にごはん  
6時に おぼし がありますよ  
と伝えるとイメージしやすいです。

2/27

◇認知症サポーター養成講座



◇ボランティア学習発表会の様子



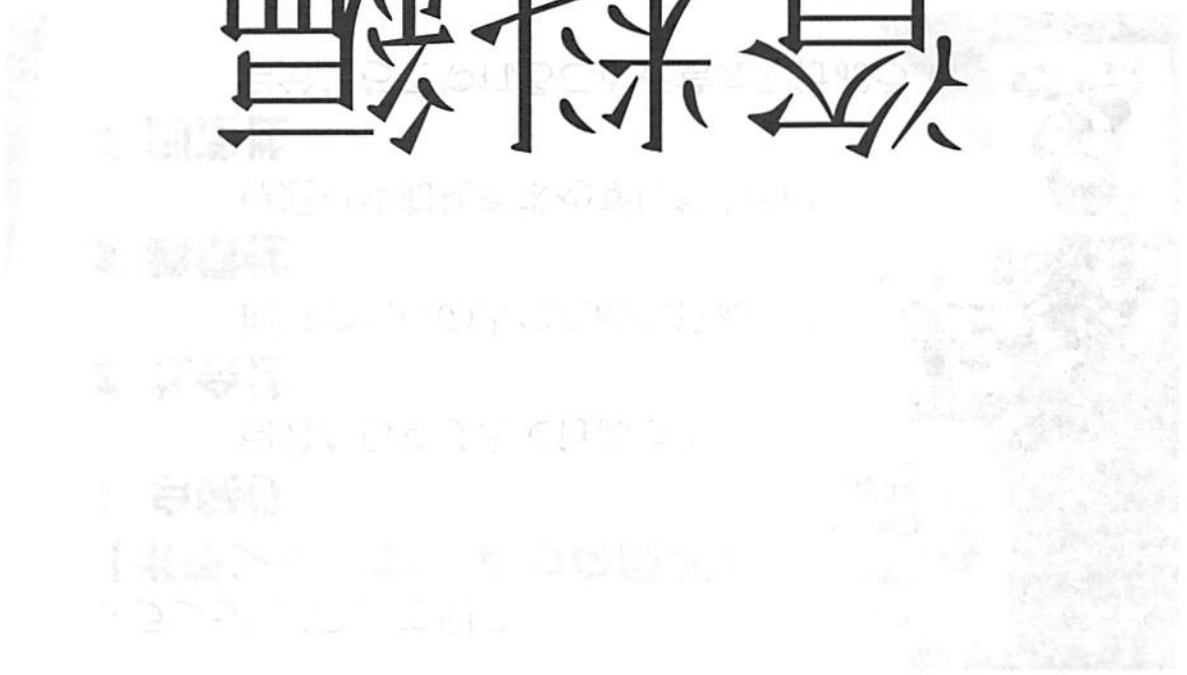
5 成果と課題

- ・ 福祉ボランティア活動の意義・重要性を理解すれば、自発的に福祉ボランティア活動に取り組む意欲が育つであろう。
  - 本研究を通して、福祉ボランティア活動の意義・重要性について、理解を深めることができた。
  - 講義形式になってしまい、「理解する学習」となってしまったため、自発的に福祉ボランティア活動に参加していこうという意欲まで育てることが難しかった。
- ・ 本校学区の人々・地域に愛着を持たせることができたならば、地域に貢献しようとする気持ちを養うことができるだろう。
  - 身近な地域の人々に来ていただき学習をしたことで、地域の実態を把握することができた。
  - 実生活の中で、高齢者や障がいがある方と接したときにどのような対応をすればよいか深く考えている姿が見られた。
  - 自分事として捉えることが難しかった生徒もおり、地域に愛着を持ち貢献しようとする気持ちを十分に養うことができなかった。
- ・ 本研究を通して地域の一員としての自覚を持つことができたならば、これからの生徒自身の生活や将来の生き方について役立てることができるだろう。
  - 本研究を通して自分自身も地域の一員であるという自覚を持たせることができた。
  - 本研究を生かして、生徒自身のこれからの生活や将来の生き方について深く探求させていくことが難しかった。





# 資料編



ボランティアって何？

## 【ボランティア 4つの原則】

### ① 自発性

自分からすすんで行おう！

### ② 社会性

地域や周りの人のために行おう！

### ③ 無償性

見返りやお礼を求めずに行おう！

### ④ 創造性

自分たちでやれることを考えて行おう！



あなたにピッタリのボランティアに  
きっと出会えるはず…



**まもる**  
環境美化  
地域の清掃  
リサイクル  
見守りパトロール  
被災者支援

**てつだう**  
子育て支援  
環境美化  
農作業  
花苗作業  
イベントの開催

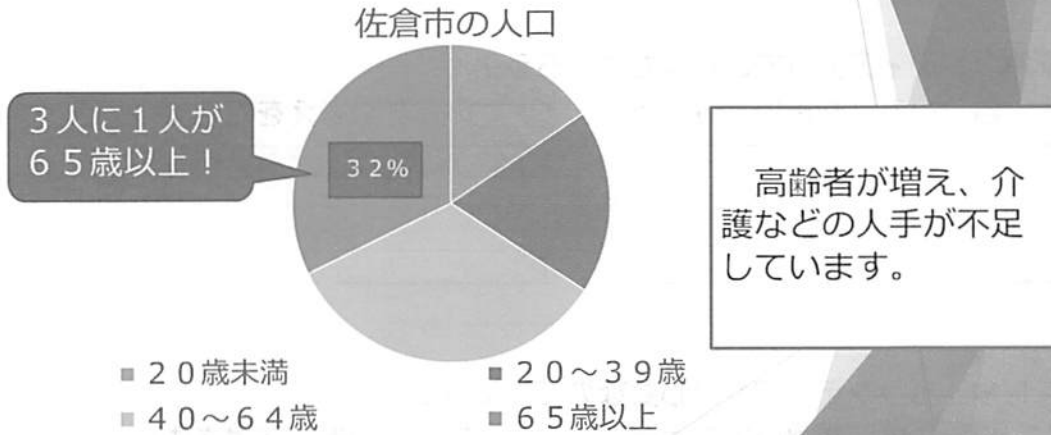
**特技をいかそう**  
手話、音訳、介護、料理  
手芸、園芸、歌、人形劇  
読み聞かせ、紙芝居  
踊り、ダンス  
英語、外国語

**おしえる**  
料理  
英語、外国語  
スポーツ、ゲーム  
レクリエーション

**ふれあう**  
高齢者、障害者、児童  
とのふれあい  
講演、イベントなどの  
参加



佐倉市には、65歳以上の方が市の人口の約何パーセントいるでしょう？



福祉ボランティアについて深く学びます！

ふだんの

くらしを

しあわせにするためのボランティア

すすんで、地域や周りの人のために、見返りを求めず、自分たちにできることを、将来できるように知識をつけよう！！

# 福祉ボランティア活動について知ろう！ ワークシート

組 番 氏名 \_\_\_\_\_

★「ボランティア」ってどんなものだろう？

自分の考えを書いてみよう。

みんなの考えを書きましょう。

自分の考えを書いてみよう。

みんなの考えを書きましょう。

★なぜ今「ボランティア」が必要なのでしょう？

自分の考えを書いてみよう。

みんなの考えを書きましょう。

自分の考えを書いてみよう。

みんなの考えを書きましょう。

## ボランティア活動、4つの原則

①

②

③

④



★どんなボランティアがあるだろう？ 自分の知っていることを書いてみよう。

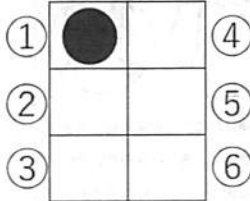
自分の知っていることを書いてみよう。

# 点字の説明 と クイズ

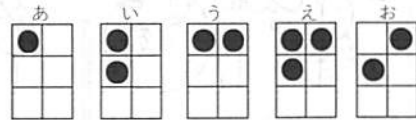
## ★ 6点 点字 についての説明



左の図のように  
6つの点で構成され  
その配列によって  
文字になります。

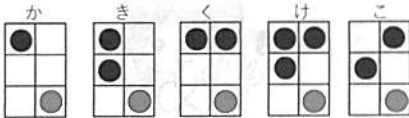


例えば  
①の点だけの場合は  
『あ』となります。

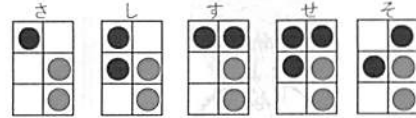


そして、①と②で『い』、①と④で『う』  
①と②と④で『え』、②と④で『お』となります。

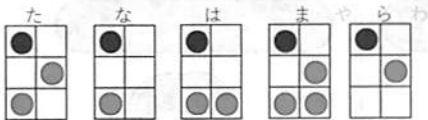
原則的に、この母音のパターンが基本となります。



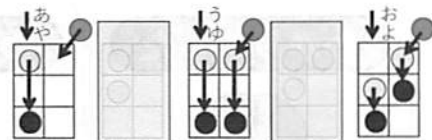
母音の あいうえお のパターンに⑥の点を加えて  
か行 となります。（覚え方：かろく）



同じく あいうえお のパターンに⑤と⑥の点を加えて  
さ行 となります。（覚え方：さごろく）



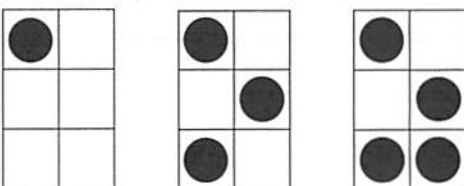
以下、た行は③と⑤（たさんご）、な行は③（なさん）  
は行は③と⑥（はさんろく）、ま行は③と⑤と⑥  
（まさごろく）、ら行は⑤（らご）となります。  
や行とわ行は特別なものとなります。



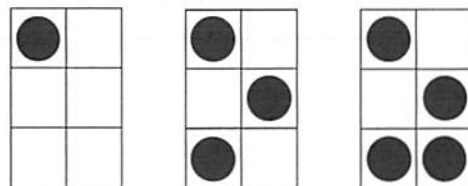
や行については

あ行の あ う お を元にして、それらの点を下まで  
さげて、④の点を加えたものとなっています。

### 問題 1



### 回答 1



あ た ま

## 手話で話そう

おはよう



握った右手を顔の横に置き、そのままひじを下げます。次に両手の人差し指を向かい合わせて立て、お辞儀するように折り曲げます。

こんにちは



人差し指と中指をたてて、眉間に当てます。次に両手の人差し指を向かい合わせて立て、お辞儀をするように折り曲げます。

こんばんは



肩のあたりで開いた両手を中央で軽く交差させます。次に両手の人差し指を向かい合わせて立て、お辞儀をするように折り曲げます。

お願いします



顔の中心のあたりで、片手を立てたまま前方へ下げます。一緒に頭も下げましょう。

ありがとう



右手の小指側で左手の甲を軽くたいて上へあげます。相撲に勝った関取が賞金をもらって手刀をさるしくさから生まれました。

さようなら



顔の横か胸の前で、軽く手を振ります。手を振って別れるしくさを表します。

わかりました



手のひらを胸に当てて、そのまま下になでおろします。これは胸をなでおろし、納得するさまで、「知る」「理解する」などの意味です。

わかりません



手のひらで右脇を払い上げます。

ごめんなさい



右手の親指と人差し指で唇間をつまみ、右手で拝むようにします。指で唇間にしわを寄せる動作の「迷惑」と、「頼む」から成っています。



まちづくり点検チェックシート<学校点検版>

■点検実施日時： \_\_\_\_\_

■点検者名： \_\_\_\_\_

■点検施設： \_\_\_\_\_

★評価尺度：○・・・設置されている/使いやすい  
 ×・・・設置されていない/使いにくい

■点検場所： \_\_\_\_\_

点検No.	点検場所	調査対象	点検項目	「設置の有無」/「使いやすさ」はどうか？					気づいたこと・気になったこと (良い点/改善点)
				① 昇降口	② ろう下	③ 教室	④ トイレ	⑤ 水飲み場	
1	①	アクセス	建物出入口までに段差がある場合、スロープなど段差解消があるか。		/	/	/	/	
2	①② ③④	アクセス	建物内の移動がスムーズにでき滑りにくい。(段差がなく移動しやすい)					/	
3	①② ③④	アクセス	車いすで移動できる通路幅がある。					/	
4	①②③ ④⑤	案内表示	建物内の目的地までの「案内表示」があり、わかりやすく工夫されている。						
5	①② ③④	案内表示	点字ブロックが構造上機能するように施設されている。					/	

点検No.	点検場所	調査対象	点検項目	「設置の有無」/「使いやすさ」はどうか？					気づいたこと・気になったこと (良い点/改善点)
				① 昇降口	② ろう下	③ 教室	④ トイレ	⑤ 水飲み場	
6	④	アクセス	「トイレ」までの導線はスムーズで、車いすが通れる通路幅がある。	/	/	/		/	
7	④	利便性	「多機能トイレ」の設置がある。	/	/	/		/	
8	④	利便性	トイレや洗面台に手すりが設置されていて、使いやすいよう配慮がある。	/	/	/		/	
9	④	利便性	ドアの開閉が簡単にできるよう工夫がある。	/	/	/		/	
10	⑤	利便性	車いすの人が手を洗うのに使いやすいよう配慮がある。	/	/	/		/	

そもそも

# 「移動困難」



ってなに？

病院に行きたい！



コンビニに買い物に行きたい！



習い事や友達と遊びに行きたい！

図書館に本を借りに行きたい！

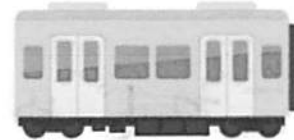


そんな時、

自分だったら  
どうする??



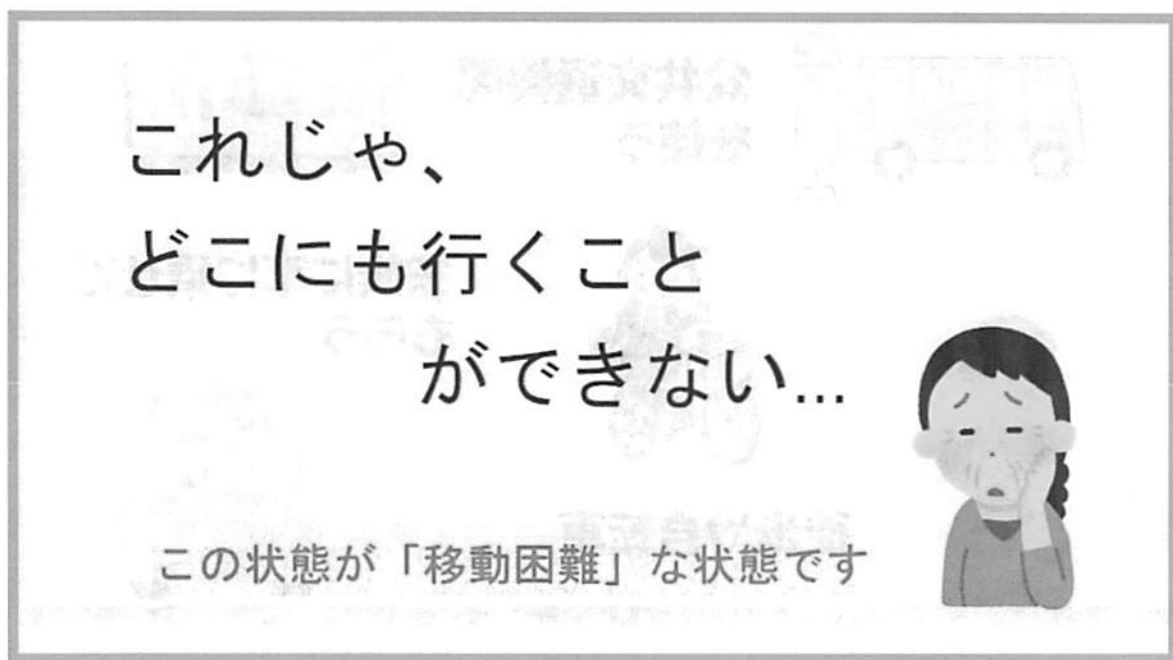
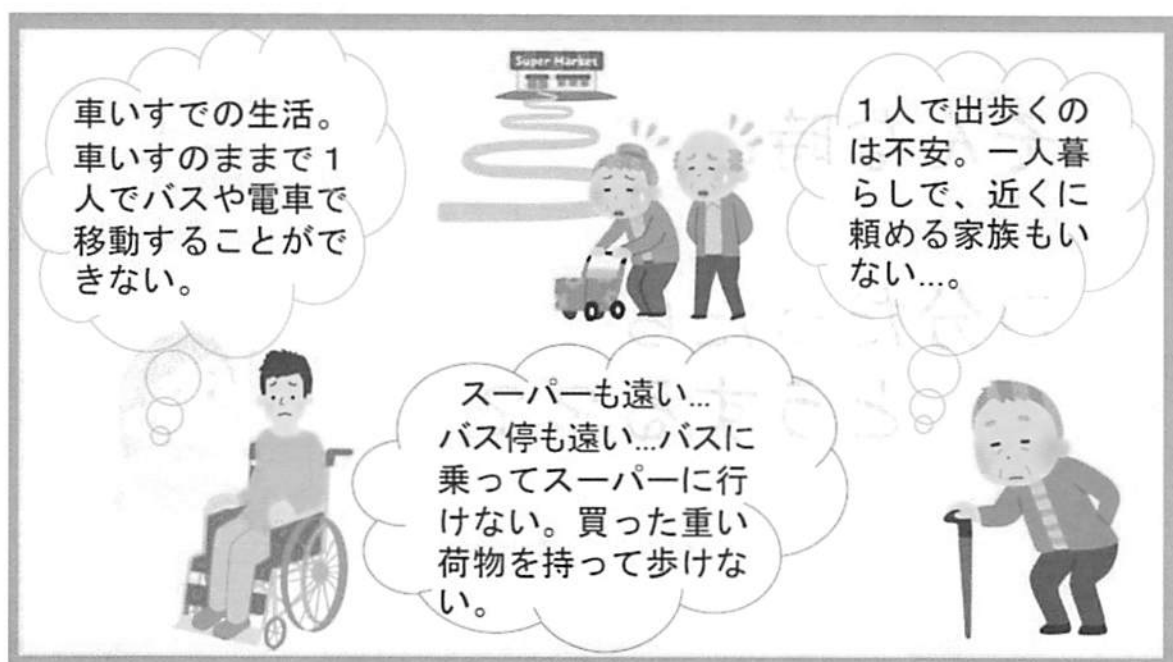
公共交通機関  
を使う



徒歩や自転車

家族に車に乗せて  
もらう





## 移動サービス

バスや電車などを一人で利用することが難しい  
高齢者や障がいを持った方々のために、車いすの  
まま乗り込めたり、座席に座りやすくするための  
特別な車（福祉車両）を使って、  
外出のお手伝いをするサービス。



佐倉市に住むたくさんの方の協力があって運営しています。

☆サポーター：運転や付き添いをしてくれる  
ボランティア

☆スポンサー：資金面での支援をしてくれる  
個人・団体



移動サービスの運営には  
赤い羽根共同募金が使われています



## 福祉ボランティア体験活動を終えて

組 番 氏名

体験活動を振り返ってあらためて…

★「ボランティア」ってどんなものだろう？

◇自分の考え

◇みんなの考え

★これからの生活の中で、身近な地域でどんなこと（ボランティアや地域貢献）があなたにできると思いますか。

◇自分の考え

◇みんなの考え

★今回体験（学習）したことを踏まえて、これからどのように生活していきたい（どのようなことを学んでいきたい）ですか。

★福祉ボランティア体験活動を振り返って（感想）